

市町村合併 南国市は1959（昭和34）年10月1日、香美郡岩村、長岡郡後免町、野田村、香長村、岡豊村の5町村が合併して発足しました。同年10月7日には伊達野部落（いたちの）が介良村より編入され現在の南国市ができました。県下では9番目の市の誕生でした。

「南国市」の市名ができるまでには「長陵市」「後免市」「香長市」「南海市」「ニューコウチ市」「東高知市」「城東市」「嶺南市」などの名も候補にあがりました。市名制定委員会では、その頃全国的に大流行した「南国土佐をあとにして」の歌詞の「南国土佐……」の「南国」が住民感情にもよく合うということで「南国市」と決めました

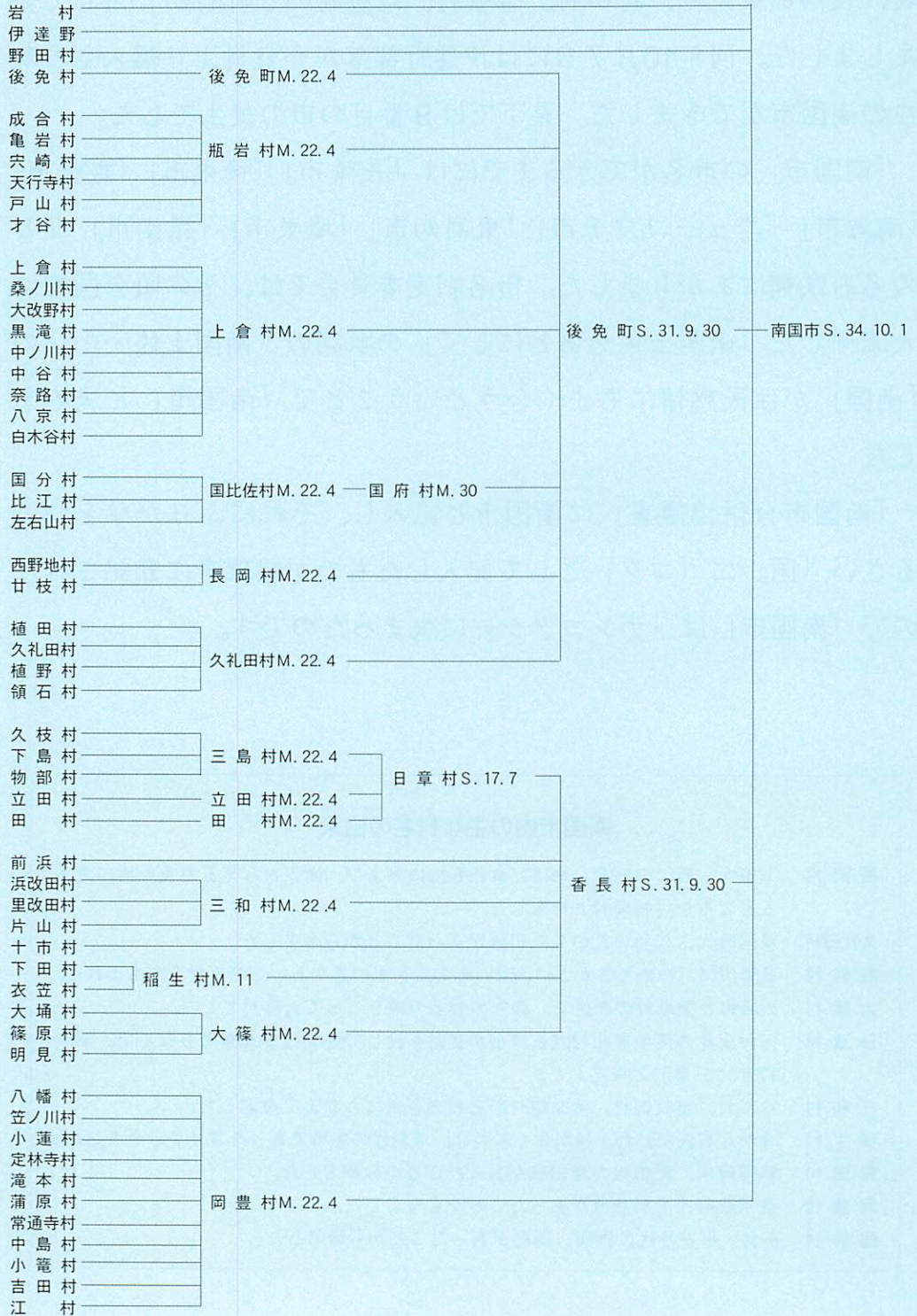
「南国市合併協議書」に南国市と記入し、それにふりがなをつけるさい「国」に「コク」として記入したものが総理府（とうき）に登録されたので「南国市」は「ナンコクシ」に決まったのです。

南国市内の主な村名の由来

- | | |
|------|---|
| 長岡村 | 山田から西にのびる台地は、東西8kmにおよび、南方から見ると長い岡に見えるところから長岡村と命名した。 |
| 久礼田村 | 戦国時代、久礼田氏の久礼田城があったことから命名した。 |
| 瓶岩村 | 瓶岩川に、かめをさかさにふせた形の石灰岩の岩があったので村名が生まれた。 |
| 大篠村 | 大桶村と篠原村の合併で、両方の村名の頭をとって大篠村とした。 |
| 日章村 | 田村出身の漢学者北村沢吉博士が私財を投じて建てた日章園にちなんで、昭和17年に日章村と命名した。 |
| 三和村 | 片山村、里改田村、浜改田村の三村の合併にちなんで命名した。 |
| 稲生村 | 昔から石灰がとれ、稲がよくみのり、二期作の本場であったことから命名した。 |
| 野田村 | 戦国時代、野田氏の野田城があったことから命名した。 |
| 岡豊村 | 長宗我部氏の岡豊城があったことから命名した。 |
| 国府村 | 奈良・平安時代に国衙、国府があったことから命名した。 |

南国市の市町村合併

S. 34. 10. 7一部山田町へ



よみがえる田村遺跡 高知空港の拡張範囲の中に田村遺跡がふくまれてしまいました。県は拡張工事にとりかかる前に発掘調査をして正確な記録を後世に残すことになりました。1980～83年の4

年間、1日平均120人による作業員によって雨の日以外は発掘作業が続けられました。

83～85年にかけて毎日30人近くの調査員により整理作業と報告書の作成が行われました。調査の終了とともに、遺跡は壊され、滑走路の下に埋められてしまいます。このことを残念に思った人たちの働きかけにより、弥生時代の水田の一部を見える遺構として「切り取り保存」ができました。

縄文時代から江戸時代までの300万点におよぶ出土遺物と、遺構からそれぞれの時代の人々のくらしを探る手がかりを得ることができました。



田村遺跡発掘調査



あど うめもど
住居址の埋戻しによる保存